

凡事徹底 野間中だより

平成27年9月2日
第215号
野間中学校

2学期始業式

夏休みも終わり、9月1日（火）に始業式を行いました。
9月1日は「防災の日」。寺田校長からは防災についてのお話と始業式後に計画された「全校防災学習」についてのお話がありました。

校長式辞（抜粋）

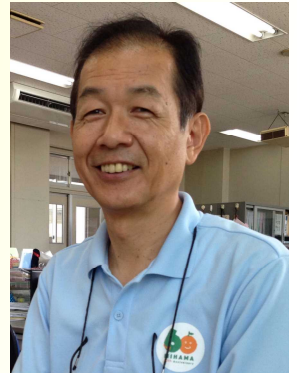
9月1日は防災の日です。
9月1日は93年前に、14万人以上の方が亡くなられた関東大震災の起こった日に、ちなんでいます。そして、昭和34年、当時、戦後最大の災害の伊勢湾台風がこの知多半島を襲いました。私は生まれて10日目でした。もちろん台風の記憶はありませんが、住んでいた家の家具や壁には、1階の天井近くまで水につかった跡が残っていました。私は助かりましたが、家から川一つ越えた所では、ほとんどの家が破壊され、多くの方が建物の下敷きになったり、流されたりして亡くなりました。この次の年から、災害を忘れず、災害に備えるために防災の日ができました。

4年前の、東日本大震災をおぼえていますか。震災後の東北地方の映像を見たとき、建物も車も人も一瞬でなくなり、まるで戦争映画で見た、爆弾で燃え尽くされた町の景色にそっくりで、本当に現実のことなのか目を疑いました。

私たちの住む野間は、今後30年以内にマグニチュード8 - 9クラスの大地震が発生する確率が、60 - 70%と発表されています。東日本大震災より、さらに大きな東南海大地震の起きる可能性がこんなに高いのに、災害への備えや心構えがないようではいけません。

自分の命を自分で守り、もし生き延びたなら、その命をいかして、被災された人たちを助けることができる中学生になってほしいと思い、この後の**防災学習**を計画しました。

もし、東北の震災のように、自分があの中にいたなら、どう生き抜いていくかをきちんと想像しながら、この後の防災について話を聞き、各自でしっかりと防災について考えてほしいと思います。



校長 寺田 真一

防災学習

発生が懸念される大地震、津波に際し、沈着・冷静・的確に対処できる力の育成、また災害時における備蓄品の確保と使用について知ることを目的に始業式に「全校防災学習」を行いました。

防災に関するDVDを視聴した後、「シェイクアウト訓練」を行いました。シェイクアウト訓練とは世界各地で行われる大規模な地震防災訓練のことで、「ドロップ（姿勢を低く）・カバー（体・頭を守る）・ホールドオン（揺れが収まるまでじっとしている）」という身を守るための基本的な行動を、生徒・教職員全員で一斉に実践しました。その後、生徒は各教室に戻り、防災備蓄品（避難生活3日間の水分補給と食糧補給品）について話し合いました。今後、生徒各自で自分専用の箱に防災備蓄品を収納し備蓄倉庫に保管する予定です。また、箱の中へは備蓄品だけでなく、生徒が自分自身へ宛てた手紙と保護者が生徒に宛てた手紙も同封します。それらの手紙には、この備蓄品を実際に使う場面はどのような状況なのか、自分はどんな状況に置かれているのかを想像し、自分への励ましなどが書かれています。



まず低く

DROP!



頭を守り

COVER!



動かない

HOLD ON!



←山本校務主任の指示で基本行動を実践→



←防災講話をする山本校務主任



<生徒が書いた手紙の例>

今、備蓄品を手にしてているわたしへ。この手紙を読んでいるということは、とても大変なことになっているのでしょうか。家族はどうなったんだろう。もしかしたら、この後一人で生きていかなくてはならないかもしれない。けどあなたは生きています。そして、みんなの力になれ！がんばれ わたし！

<保護者が書いた手紙の例>

息子へ この箱を開けたということは君は無事だということです。あなたの力になってあげたいけど、かなわないかもしれません。きみは強い子だ。今後も強く生きるんだよ。生きていてくれてありがとう。

経団連会長 榊原定征さん 母校野間中を訪問

8月1日(土)野間中の卒業生で、現在経団連会長・東レ会長 榊原定征さんが野間中学校へご来校されました。榊原会長からは昨年度の3月に野間中生へと科学に関する図書をたくさんいただきました。その図書は野間中図書館の「榊原文庫」として名物コーナーになっています。

今回の訪問で、榊原会長は「榊原文庫」をごらんになり、「この本で科学に興味をもってくれる生徒さんが増えるとうれしいです」とおっしゃいました。



美浜町フレンドシップ草の根国際交流ホームステイの旅

8月21日から26日まで美浜町フレンドシップ草の根国際交流ホームステイの旅に野間中から8名が参加しました。

親元を離れ、シンガポールでのホームステイという貴重な体験をすることができ、帰ってきた中学生は一回り大人になって帰ってきました。

今回の体験をもとに野間中のリーダー、美浜町のリーダーとして今後の活躍を期待します。

ホームステイの詳細につきましては次号で紹介いたします。
みなさんお疲れ様でした。



2年生職場体験学習 ご協力ありがとうございました。



平成18年より愛知県教育委員会より「中学生に社会の成り立ちについての理解や働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなど、社会性を身につけてもらうため、学校と地域が連携して職場体験を行う」ことを目的として、今年度も8月3日より3日間程度、2年生が職場体験を行いました。町内保育所・灯台ラーメン・灯台うどん・うつみ食堂・ジョイフルファーム・グリーンセンター奥田・えびせんべいの里・大地の丘・知多厚生病院・美浜図書館・美浜郵便局・タケショウ・自衛隊・知多南消防組合・広野モータース・日本福祉大図書館・半田信用金庫・ゆたか寿司・食と健康の館・ヤナギ・コメリ・ココカラファイン・しまむら・紅葉屋等たくさんの事業所にお世話になりました。学校では体験できない学習をすることができました。ご協力ありがとうございました。



お願い

本年度の野中祭にて、PTA保健体育部を中心に「リサイクルバザー」を行います。使わなくなった野間中の制服や体操服、ジャージ、ウインドブレーカー、カバンなどを回収し、安価で提供するものです。お家で眠っているものがあればぜひご協力ください。回収は随時職員室で行っています。よろしくお願いいたします。

バザーでの収益金は、部活動や生徒会活動等の教育活動に活用させていただきます。

【この件に関する問い合わせ先】

野間中学校 0569-87-0121 教頭 山下 博之

お願い

「野間中だより」に関するご感想やご意見がございましたら、編集部までお寄せください。

野間中だより編集部 nomajh_dayori@yahoo.co.jp